

10/21 (火) 教育長を訪問

三原特別支援学校高等部の生徒が 「第5回 CHALLENGE COFFEE BARISTA」での成果を バリスタ技術の実演とともに報告します！

三原特別支援学校高等部の生徒3名が、令和7年9月30日(火)品川プリンスホテルで開催された「第5回 CHALLENGE COFFEE BARISTA」に出場しました。バリスタの技術の実演とともに、大会に向けた取組と成果について教育長に報告します。是非、取材してください。

1 教育長訪問について

- (1) 日時 令和7年10月21日(火) 11:00～11:30
- (2) 場所 県庁東館4階 教育長室
- (3) 訪問者

三原特別支援学校

- ・生徒 高等部第3学年 おかもと こうき しばた ゆうか
岡本 晃貴、柴田 優花
- 高等部第2学年 おはら こうへい
小原 公平
- ・教諭 榎 倫子、山本 麻紀



<大会の様子>

2 報告内容

- (1) 3月に行われたオンラインの予選会を突破し、全国から予選を通過した9チームのうちの1つとして全国大会に出場した。この9月30日(火)に東京品川プリンスホテルで行われた全国大会での結果(スマイル賞、フェダール賞)をこれまでの取組の成果とともに報告する。
- (2) 審査項目は、ブレンド審査と技術審査の2つ。日ごろから月1回出店しているカフェで磨いたスキルにさらに磨きをかけて大会へと備えていった。しかし、大会本部から送られてきた日ごろ飲んでいるものとは違う希少な豆を使用してのブレンド作業は大変苦戦した。基本のコンセプトに「こもれば揺れる秋の午後に、そっと寄り添う一杯のコーヒー」を掲げ、試行錯誤を繰り返しながら自分たちのコーヒー「こもればブレンド」をつくりあげた。
- (3) 練習を重ねて培った全国大会出場のバリスタ技術を披露する。

【チャレンジコーヒーバリスタとは】

～すべての人の「ありのまま」を受け入れ、
ともに働く社会を目指して～

一般社団法人 日本サステナブルコーヒー協会が主催する定期イベントでイベント名称を「チャレンジコーヒーバリスタ」としております。障がいのある方たちのバリスタコンペティションを行い、「技術の向上」と「新しい雇用の創出」を目指すために開催しています。コーヒーを通して、障がいの有無に関わらず、すべての人がその人らしく生き活きと、命を輝かせて生活できる「インクルーシブな社会」となることを願い企画いたしました。

出展：チャレンジコーヒーバリスタホームページ

